

【報道関係者各位】

2016年8月4日

## ゲンナイ製薬調べ

## 「帰省時に夫婦が感じるプレッシャーに関する調査」

配偶者の実家への帰省 妻の6割は「気が重い」と回答

帰省中に親に甘えっぱなしのマザコン夫にムツとした妻は約2割

帰省先の要注意人物！？

「子どもはまだ？」プレッシャー 断然1位は「義母から」

妊活サプリメントを展開するゲンナイ製薬株式会社(所在地:東京都中央区、代表取締役:上山 永生)は、2016年7月25日～7月27日の3日間で、全国の20歳～59歳の既婚男女(配偶者がいる男女)に対し、「帰省時に夫婦が感じるプレッシャーに関する調査」をインターネットリサーチで実施し、1,000名の有効回答サンプルを集計しました。(調査協力会社:ネットエイジア株式会社)

## ≫ 結婚前の不安について ……………P.2

- 結婚前の不安 男性のトップは「自由なお金が減る」、女性のトップは「親戚付き合い」

## ≫ 実家への帰省と帰省時のプレッシャーについて ……………P.3-8

- 夫の実家への帰省頻度 最多回答は「2～3ヶ月に1回程度」、『1年に1回以上』は夫8割半、妻7割強  
妻の実家への帰省頻度 最多回答は「半年に1回程度」、『1年に1回以上』は夫8割強、妻8割半
- 配偶者の実家への帰省 夫の半数以上は『楽しみ』と回答も、妻の6割は『気が重い』と回答  
一方、自分の実家への帰省を『楽しみ』にしているのは夫より妻
- 実家への帰省が『楽しみ』な理由は「おいしいものが食べられる」や「旅行気分を味わえる」  
一方、実家への帰省が『気が重い』理由は「仲が悪い」「めんどくさい」
- 帰省時に配偶者の態度にムツとなったことがある人は4割、夫は3割強、妻は約5割
- 帰省時に夫がムツとなる妻の態度 1位「知らない話題で盛り上がる」、  
「自分のことをばかにする」や「自分の実家をバカにする」との回答も
- 帰省時に妻がムツとなる夫の態度 1位は「ずっとゴロゴロ」、マザコン夫にムツとした妻は約2割
- 帰省の際にプレッシャーを受けたことがある人は4割半、夫は約4割、妻は5割
- 帰省の際に感じたプレッシャーの内容は「親戚の集まり」「世帯収入」「子どもの誕生」  
最もプレッシャーに感じたこと 子どもがいない夫婦では「子どもの誕生」がダントツ
- 帰省先の要注意人物！？ 「子どもはまだ？」プレッシャー 断然1位は「義母から」

## ≫ 親戚付き合いについて ……………P.9

- 実施率が高い親戚付き合いは「冠婚葬祭」、前向きに実施していることは「子どもたちの相手」、  
「子どもたちの相手」「お祝いの集まり」は楽しみながらやっている夫婦が比較的多い傾向
- 夫婦が親戚付き合いで負担に感じることは？

本リリース内容の転載にあたりましては、  
「妊活サプリメントを提供するゲンナイ製薬調べ」もしくは「ゲンナイ製薬調べ」  
と記載頂けますよう、お願い申し上げます。

PDF版・グラフデータは、ウェブサイト上よりご覧いただけます。

<http://www.gennai-seiyaku.co.jp/>

【本リリースに関する報道関係者のお問い合わせ先】

○ゲンナイ製薬株式会社

広報担当:溝口/塚本

TEL:03-6222-8416(10:00～19:00)

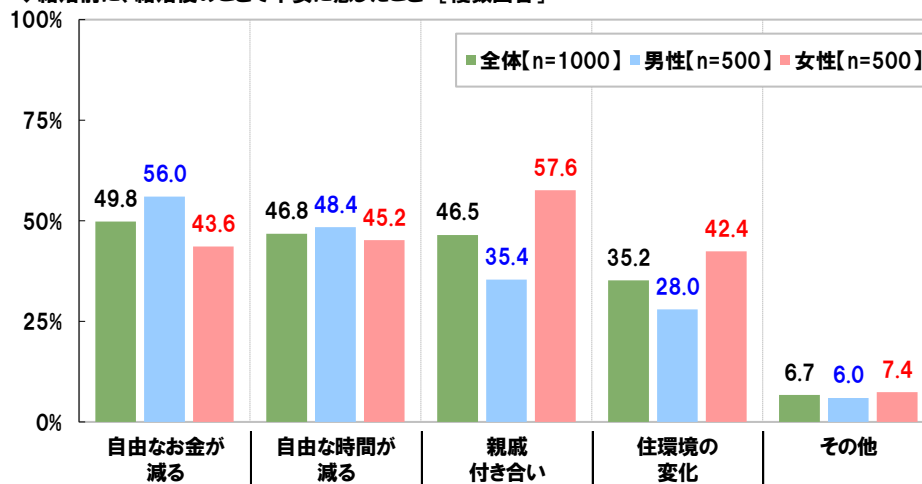
## 調査結果

### ■結婚前の不安 男性のトップは「自由なお金が減る」、女性のトップは「親戚付き合い」

まず、全国の20歳～59歳の既婚男女（配偶者がいる男女）1,000名（全回答者）に、結婚前に、結婚後のことで不安を感じたことを聞いたところ、「自由なお金が減る」が最も多く49.8%、次いで、「自由な時間が減る」が46.8%、「親戚付き合い」が46.5%で続きました。

男女別にみると、男性のトップは「自由なお金が減る」で56.0%となり、女性（43.6%）より10ポイント以上高くなりました。一方、女性のトップは「親戚付き合い」で57.6%と約6割となり、男性（35.4%）より20ポイント以上も高くなりました。結婚前から自由なお金が減ることに不安を感じる男性や親戚付き合いに不安を感じる女性は多いようです。

◆結婚前に、結婚後のことで不安を感じたこと [複数回答]



**■夫の実家への帰省頻度 最多回答は「2～3ヶ月に1回程度」、『1年に1回以上』は夫8割半、妻7割強**  
**■妻の実家への帰省頻度 最多回答は「半年に1回程度」、『1年に1回以上』は夫8割強、妻8割半**

次に、実家への帰省について聞きました。

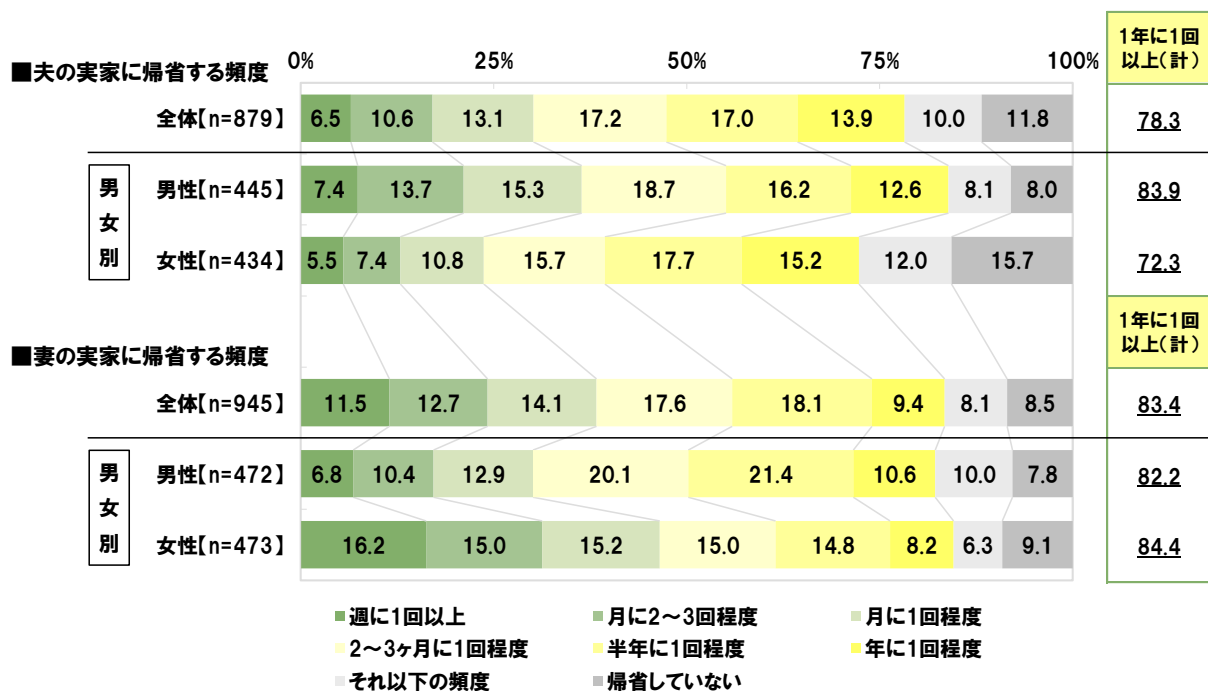
現在の住まいが夫の実家ではない人(879名)に、どのくらいの頻度で夫の実家に帰省しているか聞いたところ、最多回答は「2～3ヶ月に1回程度」で17.2%、ほぼ同率で「半年に1回程度」17.0%が続き、1年に1回以上帰省している人の割合は78.3%になりました。

男女別にみると、1年に1回以上帰省している人の割合は、男性では83.9%でしたが、女性では72.3%となり、また、「帰省していない」は男性では8.0%、女性では15.7%となりました。夫の実家に帰省しないという女性も少なからずいるようです。

また、現在の住まいが妻の実家ではない人(945名)に、どのくらいの頻度で妻の実家に帰省しているか聞いたところ、最多回答は「半年に1回程度」で18.1%となり、1年に1回以上帰省している人の割合は83.4%になりました。

男女別にみると、1年に1回以上帰省している人の割合は、男性で82.2%、女性で84.4%となり、男性では、自分の実家に1年に1回以上帰省している人の割合と大きな差はみられませんでした。女性では、自分の実家に1年に1回以上帰省している人の割合のほうが10ポイント以上高くなりました。

◆実家に帰省している頻度 [各単一回答] 各対象:現在の住まいがそれぞれの実家ではない人



## ■配偶者の実家への帰省 夫の半数以上は『楽しみ』と回答も、妻の6割は『気が重い』と回答 一方、自分の実家への帰省を『楽しみ』にしているのは夫より妻

では、実家に帰省することに対しては、どのように感じているのでしょうか。

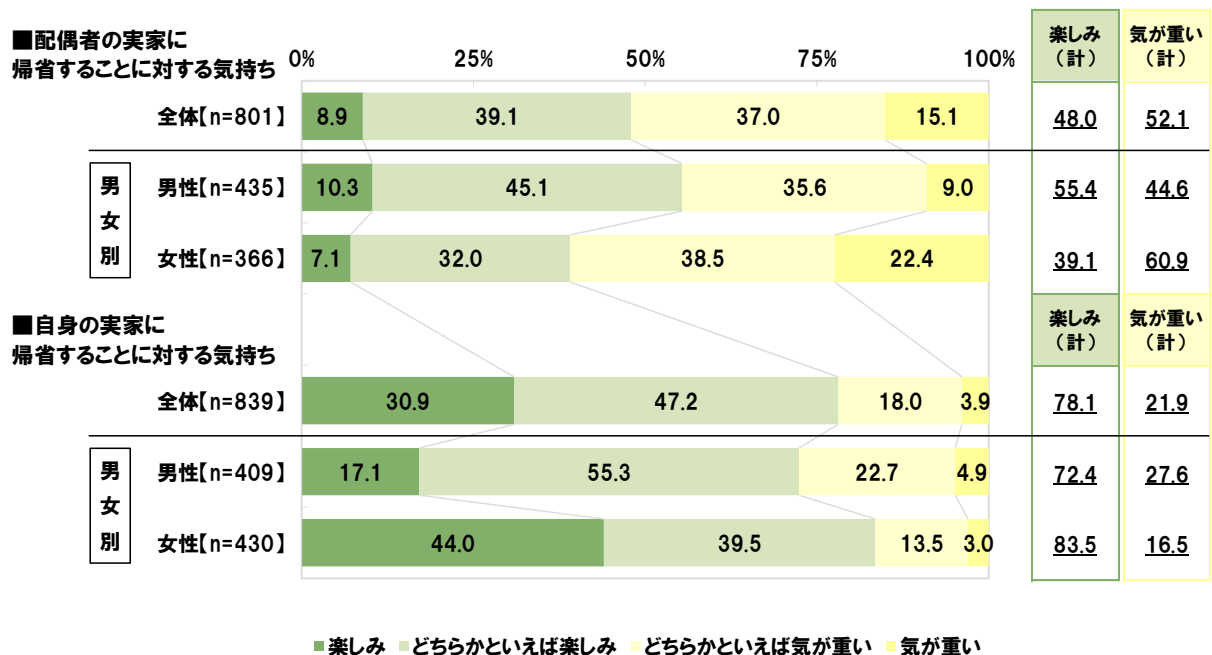
配偶者の実家に帰省することがある人(801名)に、配偶者の実家に帰省することに対する気持ちを聞いたところ、「楽しみ」が8.9%、「どちらかといえば楽しみ」が39.1%で、合計した『楽しみ(計)』は48.0%となり、「どちらかといえば気が重い」が37.0%、「気が重い」が15.1%で、合計した『気が重い(計)』は52.1%となりました。配偶者の実家に帰省することに対しては、楽しみという人と気が重いという人が拮抗しているようです。

男女別にみると、男性では、『楽しみ(計)』が55.4%、『気が重い(計)』が44.6%と、妻の実家に帰省することを楽しみに感じている人のほうが多くなりましたが、女性では、『楽しみ(計)』が39.1%、『気が重い(計)』が60.9%となり、夫の実家に帰省することを気が重いと感じている人のほうが多くなりました。

また、自身の実家に帰省することがある人(839名)に、自身の実家に帰省することに対する気持ちを聞いたところ、「楽しみ」が30.9%、「どちらかといえば楽しみ」が47.2%で、『楽しみ(計)』は78.1%、「どちらかといえば気が重い」が18.0%、「気が重い」が3.9%で、『気が重い(計)』は21.9%でした。自身の実家に帰省することは、配偶者の実家への帰省とは異なり、楽しみに感じている人が大多数のようです。

男女別にみると、『楽しみ(計)』は、男性では72.4%、女性では83.5%となり、女性のほうが自身の実家への帰省を楽しみにしている傾向が強くなりました。

### ◆実家に帰省することに対する気持ち [各単一回答] 各対象:それぞれの実家に帰省することがある人



## ■実家への帰省が『楽しみ』な理由は「おいしいものが食べられる」や「旅行気分を味わえる」 一方、実家への帰省が『気が重い』理由は「仲が悪い」「めんどくさい」

配偶者や自身の実家に帰省することが楽しみな理由と気が重い理由とは、どのようなことなのでしょう。

まず、配偶者の実家に帰省することに対して『楽しみ』と回答した人の理由をみると、おいしいご飯を用意してくれている(40代女性)などの「おいしいものが食べられるから」といった理由や、旅行感覚で楽しい(30代男性)などの「旅行気分が味わえるから」といった理由が多く挙げられました。また、「お義父さん・お義母さんやみんなに会えるから」という理由や「子どもが喜ぶから」という理由も挙げられていました。

一方、『気が重い』と回答した人の理由をみると、「気をつかうから」、義父が苦手(30代女性)や義母が苦手(20代男性)といった「義理の家族と合わない」というような理由、「めんどくさいから」、「会話が長い・気まずいから」というような理由が挙げられていました。

### ◆配偶者の実家に帰省することが「楽しみ」な理由 [自由回答] ※一部回答を抜粋

<b>・おいしいものが食べられるから</b> …おいしいご飯を用意してくれている(40代女性) / ご馳走が出る(50代男性) / 飯がうまい(40代男性) など
<b>・旅行気分を味わえるから</b> …旅行感覚で楽しい(30代男性) / 沖縄だから、旅行も兼ねて(20代女性) / 遠いので旅行気分(50代男性) など
<b>・お義父さん・お義母さんやみんなに会えるから</b> …お義父さんお義母さんが優しいから(20代女性) / みんなで騒げる(50代男性) / みんなが楽しいから(40代女性) など
<b>・子どもが喜ぶから</b> …子どもが楽しそう(30代男性) / 子どもが喜ぶ(30代女性) / 子どもとたくさん遊んでくれる(30代女性) など

### ◆配偶者の実家に帰省することが「気が重い」理由 [自由回答] ※一部回答を抜粋

<b>・気をつかうから</b> …気をつかう(30代男性) / 実家とくらべれば、気をつかう(50代男性) / 多少なりとも気をつかう(20代女性) など
<b>・義理の家族と合わないから</b> …義父が苦手(30代女性) / 義母が苦手(20代男性) / 義理姉と不仲(30代女性) / 義父母の過干渉(50代男性) など
<b>・めんどくさいから</b> …社交辞令がめんどくさい(20代男性) / みやげや気づかいがめんど(40代女性) / 家事など手伝わ事がめんど(20代女性) など
<b>・会話が長い・気まずいから</b> …会話が続かない(30代男性) / 気まずい(20代男性) / 居心地が悪い(40代男性) など

次に、自身の実家に帰省することに対して『楽しみ』と回答した人の理由をみると、くつろげる(20代女性)などの「くつろげる・ゆっくりできる」といった理由や、母の手料理が食べられる(20代女性)などの「おいしいものが食べられる」といった理由が多く挙げられました。また、「家族に会えるから」や「友だちに会えるから」といった理由も挙げられました。

『気が重い』と回答した人の理由をみると、「家族の仲が良くないから」や「小言が多い・口うるさいから」、「めんどくさいから」、「配偶者や子どもが嫌がるから」といった内容の理由が挙げられました。

### ◆自身の実家に帰省することが「楽しみ」な理由 [自由回答] ※一部回答を抜粋

<b>・くつろげる・ゆっくりできるから</b> …くつろげる(20代女性) / のんびりできる(30代男性) / ゆっくりできる(40代女性) / リラックスできる(20代女性) など
<b>・おいしいものが食べられる</b> …母の手料理が食べられる(40代女性) / ご馳走を用意してくれる(30代男性) / お袋の料理が食べられる(50代男性) など
<b>・家族に会えるから</b> …家族に会えるのが嬉しい(20代女性) / 甥っ子や姪っ子が遊びに来る(30代男性) / 兄弟が揃う(20代男性) など
<b>・友だちに会えるから</b> …友人との再会(20代女性) / 友だちに会える(50代男性) / 友だちが地元にいっぱいいる(30代男性) など

### ◆自身の実家に帰省することが「気が重い」理由 [自由回答] ※一部回答を抜粋

<b>・家族の仲が良くないから</b> …家族とは不仲(40代男性) / 兄弟とあまり仲が良くない(50代男性) / 仲が悪い(20代女性) / 喧嘩になる(50代女性) など
<b>・小言が多い・口うるさいから</b> …小言や愚痴を聞かされる(40代女性) / 嫌みがきつい(40代男性) / 口うるさい(40代女性) / 小言がうるさい(50代男性) など
<b>・めんどくさいから</b> …話がめんどくさい(30代男性) / めんどくさだから(40代女性) / 遠くてめんど(50代女性) / 何となくめんどくさい(50代男性) など
<b>・配偶者や子どもが嫌がるから</b> …妻が嫌がってる(20代男性) / 子どもが会いたがらない(40代男性) / 夫と父親の仲が良くない(40代女性) など

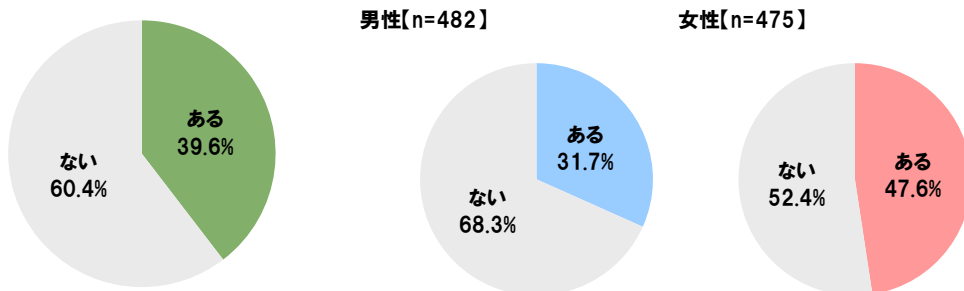
**■帰省時に配偶者の態度にムツとなったことがある人は4割、夫は3割強、妻は約5割**
**■帰省時に夫がムツとなる妻の態度 1位「知らない話題で盛り上がる」、**
**「自分のことをばかにする」や「自分の実家をばかにする」との回答も**
**■帰省時に妻がムツとなる夫の態度 1位は「ずっとゴロゴロ」、マザコン夫にムツとした妻は約2割**

配偶者、または自身の実家に帰省することがある人(957名)に、実家に帰省した際、配偶者のどのような態度でムツとなったことがあるかを聞き、ムツとなったことがある人の割合を算出したところ、「ある」という人は39.6%、「ない」という人は60.4%になりました。また、男女別に「ある」という人の割合をみると、男性では31.7%、女性では47.6%と女性のほうが高くなりました。

**◆実家に帰省した際、配偶者の態度にムツとなったことがあるか**

対象:配偶者、または自身の実家に帰省することがある人

全体[n=957]



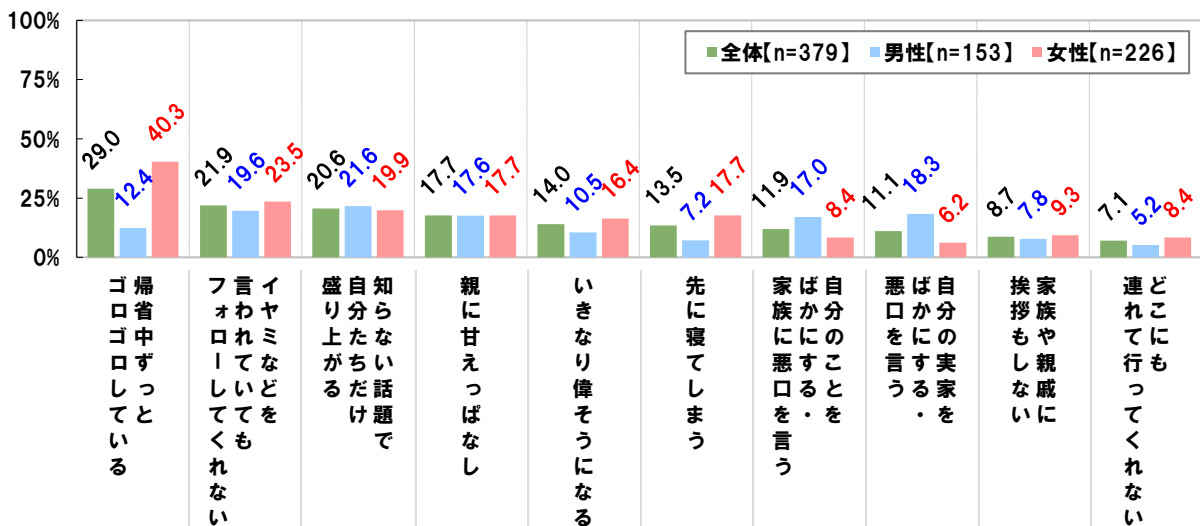
では、配偶者のどのような態度にムツとなったのでしょうか。

実家に帰省した際に、配偶者の態度でムツとなった経験がある人(379名)についてみると、「帰省中ずっとゴロゴロしている」が最も多く29.0%、次いで、「イヤミなどを言われていてもフォローしてくれない」21.9%、「知らない話題で自分たちだけ盛り上がる」20.6%が続きました。

男女別にみると、男性では、「知らない話題で自分たちだけ盛り上がる」が21.6%で最も高く、また、「自分のことをばかにする・家族に悪口を言う」17.0%や「自分の実家をばかにする・悪口を言う」18.3%が女性(それぞれ8.4%、6.2%)より10ポイント前後高くなりました。男性は女性に比べて、自分や実家の事をばかにされてムツとしている人が多いようです。一方、女性では、「帰省中ずっとゴロゴロしている」が40.3%で最も高くなり、「先に寝てしまう」17.7%が男性(7.2%)より高くなりました。女性は男性に比べて、自分のことをほったらかしにされてムツとしている人が多いようです。また、「親に甘えっぱなし」と回答した女性は17.7%と、約2割になりました。実家の帰省中にずっと親に甘えているマザコン夫にムツとなったことがある女性は少なくないのかもしれませんが。

**◆実家に帰省した際に、配偶者の態度でムツとなったこと【複数回答】**

対象:実家に帰省した際、配偶者の態度でムツとなった経験がある人 ※上位10項目を抜粋

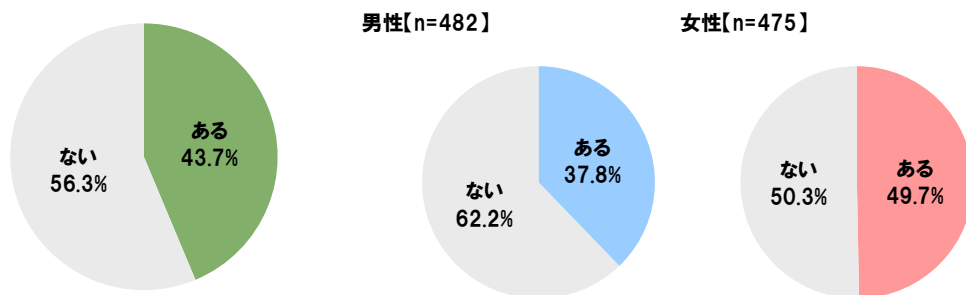


- 帰省の際にプレッシャーを受けたことがある人は4割半、夫は約4割、妻は5割**
- 帰省の際に感じたプレッシャーの内容は「親戚の集まり」「世帯収入」「子どもの誕生」**
- 最もプレッシャーに感じたこと 子どもがいない夫婦では「子どもの誕生」がダントツ**
- 帰省先の要注意人物！？「子どもはまだ？」プレッシャー 断然1位は「義母から」**

独身時代に、帰省した際、“結婚はまだか”とプレッシャーをかけられたというような話はよく耳にしますが、夫婦そろっての帰省では、どのようなプレッシャーがあるのでしょうか。

配偶者、または自身の実家に帰省することがある人(957名)に、実家に帰省した際、どのような内容のプレッシャーを受けたことがあるかを聞き、プレッシャーを受けたことがある人の割合を算出したところ、「ある」という人は43.7%となり、男女別にみると、男性では37.8%、女性では49.7%でした。

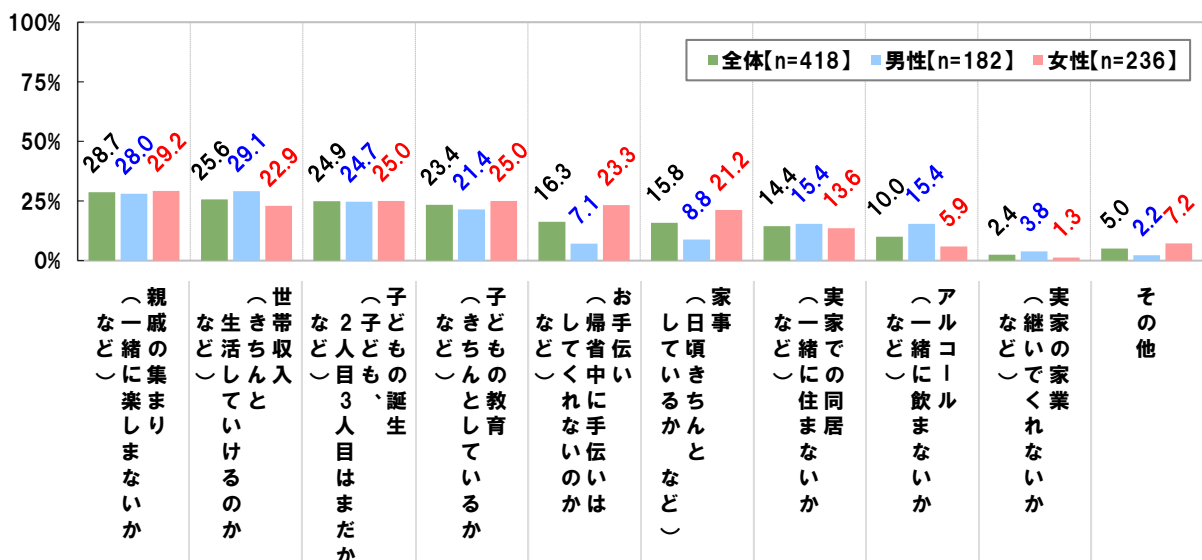
◆**実家に帰省した際、プレッシャーを受けたことがあるか**  
 対象:配偶者、または自身の実家に帰省することがある人  
 全体[n=957]



次に、実家に帰省した際、プレッシャーを受けたことがある人(418名)が、どのようなプレッシャーを受けたのかをみると、「親戚の集まり(一緒に楽しまないか など)」が最も多く28.7%、次いで、「世帯収入(きちんと生活していけるのか など)」が25.6%、「子どもの誕生(子ども、2人目3人目はまだか など)」が24.9%、「子どもの教育(きちんとしているか など)」が23.4%で続きました。配偶者の親戚の集まりに参加することが苦手という人が多いのかもしれません。また、収入や子どものことなど、自分の家族に関することでプレッシャーを受けたという人も多いようです。

男女別にみると、「アルコール(一緒に飲まないか など)」(男性15.4%、女性5.9%)は、男性のほうが高くなり、「お手伝い(帰省中に手伝いはしてくれないのか など)」(男性7.1%、女性23.3%)や「家事(日頃きちんとしているか など)」(男性8.8%、女性21.2%)は、女性のほうが高くなりました。お酒の誘いは男性ならではのプレッシャーのようです。

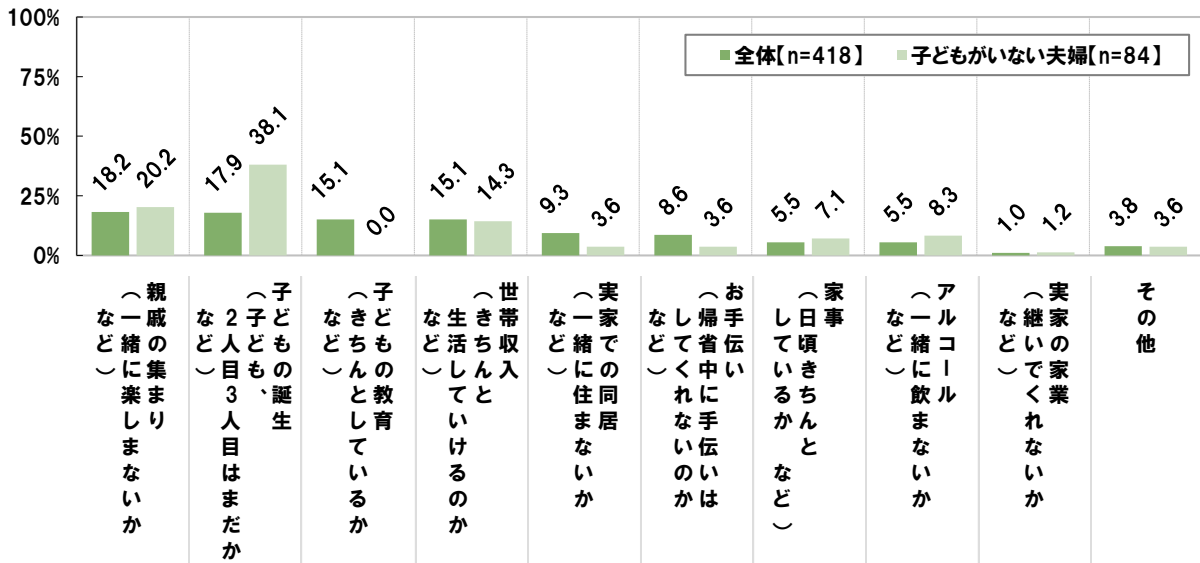
◆**実家に帰省した際に、プレッシャーを受けたこと [複数回答]**  
 対象:実家に帰省した際、プレッシャーを受けたことがある人



また、実家に帰省した際、プレッシャーを受けたことがある人(418名)に、受けたプレッシャーの中で、最もプレッシャーに感じたことを聞いたところ、「親戚の集まり(一緒に楽しまないか など)」が最も多く 18.2%、次いで、「子どもの誕生(子ども、2人目3人目はまだか など)」が 17.9%、「子どもの教育(きちんとしているか など)」と「世帯収入(きちんと生活していけるのか など)」が 15.1%で続きました。

また、子どもがいない夫婦についてみると、「子どもの誕生」が 38.1%と際立って高くなりました。子どもがいない夫婦にとって、帰省時に、“子どもはまだ?”と聞かれることは、ほかの何よりもプレッシャーに感じるようです。

◆実家に帰省した際に、最もプレッシャーに感じたこと [単一回答]  
対象:実家に帰省した際、プレッシャーを受けたことがある人



では、最もプレッシャーに感じたことは、誰から受けたのでしょうか。

プレッシャーの内容別にみると、最もプレッシャーに感じたこととして多く挙げられていた“親戚の集まり”に関するプレッシャーや“子どもの誕生”に関するプレッシャーで、「義母」(それぞれ 46.1%、54.7%)が最も高くなったほか、子どもの教育、実家での同居などに関するプレッシャーでも「義母」がトップになりました。義理のお母さんが良かれと思って話していることも、帰省してきた夫婦にとっては、プレッシャーに感じてしまった、ということもあるのではないのでしょうか。

◆実家に帰省した際に、最も強く感じたプレッシャーは誰から受けたか [複数回答]

対象:実家に帰省した際、プレッシャーを受けたことがある人  
※回答者が30名以上のプレッシャーを集計対象にした

		プレッシャーを受けた相手												
		義父	義母	義理の兄弟姉妹	義理の祖父	義理の祖母	自身の父	自身の母	自身の兄弟姉妹	自身の祖父	自身の祖母	おい・めい	おじ・おば	その他
最もプレッシャーに感じたこと	親戚の集まり【n=76】	35.5	46.1	23.7	2.6	2.6	2.6	6.6	1.3	1.3	2.6	6.6	25.0	5.3
	子どもの誕生【n=75】	37.3	54.7	8.0	2.7	8.0	24.0	34.7	5.3	5.3	5.3	-	9.3	2.7
	子どもの教育【n=63】	38.1	52.4	11.1	6.3	4.8	9.5	33.3	3.2	1.6	3.2	3.2	9.5	1.6
	世帯収入【n=63】	41.3	39.7	4.8	4.8	3.2	27.0	49.2	4.8	-	-	1.6	6.3	-
	実家での同居【n=39】	28.2	53.8	10.3	2.6	7.7	12.8	15.4	2.6	-	2.6	-	5.1	5.1
	お手伝い【n=36】	11.1	66.7	11.1	-	5.6	2.8	13.9	2.8	-	2.8	-	2.8	5.6

■1位 / ■2位 / ■3位 (%)



**■実施率が高い親戚付き合いは「冠婚葬祭」、前向きに実施していることは「子どもたちの相手」、  
 「子どもたちの相手」「お祝いの集まり」は楽しみながらやっている夫婦が比較的多い傾向  
 ■夫婦が親戚付き合いで負担に感じることは？**

女性が結婚前に不安に思っていたことのトップが「親戚付き合い」となり、また、実家に帰省した際に受けたプレッシャーのトップが「親戚の集まり」となるなど、親戚付き合いが夫婦にとって簡単なことではない様子がうかがえましたが、親戚付き合いとして、どのようなことが行われているのでしょうか。

全回答者(1,000名)に、両親以外との親戚付き合いについての実施状況を聞いたところ、実施率が最も高くなったのは「冠婚葬祭へ参加する」84.5%でしたが、前向き実施率(「積極的に行っている」と「進んで行っている」の合計)をみると、「親戚の子どもたちの相手をする」44.5%が最も高くなりました。さらに、楽しみながら実施している人の割合に着目すると、「親戚の子どもたちの相手をする」15.6%や「お祝いの集まり(誕生日、父の日、母の日、還暦のお祝い)」13.7%が他の親戚付き合いより高い傾向にあることがわかりました。

◆親戚付き合い(両親以外)に関する実施状況・気持ち [各単一回答] 全体[n=1000]

	0%	25%	50%	75%	100%	実施率	前向き実施率
冠婚葬祭へ参加する	7.4	36.5	40.6	15.5		84.5	43.9
手土産の準備を行う	10.7	30.5	32.9	25.9		74.1	41.2
親戚の子どもたちの相手をする	15.6	28.9	25.5	30.0		70.0	44.5
お祝いの集まり(誕生日、父の日、母の日、還暦のお祝い)	13.7	28.8	25.0	32.5		67.5	42.5
親戚の集まりの際に、炊事や家事を手伝う	5.6	27.1	32.8	34.5		65.5	32.7
暑中見舞いや年賀状など季節のお便りを出す	6.8	28.4	28.8	36.0		64.0	35.2
実際に会いに行く	8.3	20.5	31.5	39.7		60.3	28.8
電話やメールなどで定期的な連絡をとる	5.9	18.3	27.8	48.0		52.0	24.2
お中元やお歳暮を贈り、日ごろの感謝の気持ちを伝える	5.5	16.0	22.3	56.2		43.8	21.5
旅行に行く	9.0	16.5	16.7	57.8		42.2	25.5

■楽しみながら、積極的に行っている  
 ■良好な関係を築くため、進んで行っている  
 ■やや手間に感じるが、行っている  
 ■面倒でしかないから、行っていない

最後に、全回答者(1,000名)に、両親以外との親戚付き合いで負担に感じることを聞いたところ、御祝儀などお祝い(20代女性)やお年玉(20代男性)といった「金銭的負担」、何を話していいか困る(40代女性)、気がやすまらない(50代女性)といった「気をつかうこと」、親戚が多くて、覚えられない(20代男性)や人数が多過ぎて顔と名前が一致しない(20代女性)といった「名前や顔を覚えること」などが挙げられました。

◆両親以外との親戚付き合いで負担に感じること [自由回答] ※一部回答を抜粋

<b>・金銭的負担</b> …御祝儀などお祝い(20代女性)/お年玉(20代男性)/お年玉やお祝い事のご祝儀など(30代男性) など
<b>・気をつかうこと</b> …何を話していいか困る(40代女性)/気がやすまらない(50代女性)/気をつかうので疲れる(20代女性) など
<b>・名前や顔を覚えること</b> …親戚が多くて、覚えられない(20代男性)/人数が多過ぎて顔と名前が一致しない(20代女性) など
<b>・その他</b> …しきたり等考え方が違うこと(50代男性)/スケジュール調整(30代男性)/挨拶まわり(30代男性) など

## ◆調査概要◆

- ◆調査タイトル: 帰省時に夫婦が感じるプレッシャーに関する調査
- ◆調査対象: ネットエイジアリサーチのモニター会員を母集団とする  
20歳～59歳の既婚男女(配偶者がいる男女)
- ◆調査期間: 2016年7月25日～7月27日
- ◆調査方法: インターネット調査
- ◆調査地域: 全国
- ◆有効回答数: 1,000サンプル(男性500サンプル/女性500サンプル)
- ◆実施機関: ネットエイジア株式会社

## ■報道関係の皆様へ■

本リリース内容の転載にあたりましては、  
「妊活サプリメントを提供するゲンナイ製薬調べ」もしくは「ゲンナイ製薬調べ」  
と記載頂けますよう、お願い申し上げます。

【本リリースに関する報道関係者のお問い合わせ先】

○ゲンナイ製薬株式会社

広報担当: 溝口/塚本

TEL: 03-6222-8416(10:00～19:00)

## ■会社概要■

企業名	ゲンナイ製薬株式会社 Gennai Pharmaceutical Co.,Ltd
代表取締役	上山 永生
本社所在地	〒104-0033 東京都中央区新川 2-9-6 シュテルン中央ビル 3 階
電話番号	03-6222-8440(代表) / 03-6222-8416(広報部署専用)
設立年月	2009 年 6 月
資本金	1,000 万円
売上高	8 億 7,000 万円(6 期)
従業員数	12 名(男性 3 名、女性 9 名)
業務内容	化粧品、医薬部外品製造販売／サプリメント販売／情報提供サイトの運営
URL	<a href="http://www.gennai-seiyaku.co.jp/">http://www.gennai-seiyaku.co.jp/</a>